

作成日：2018年12月17日

2016年4月1日から2017年3月31日までに名古屋市立大学病院眼科で ぶどう膜炎と診断された患者への説明文書

臨床研究課題名：

「ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査」

1. この研究を計画した背景

ぶどう膜炎の原因疾患構成は人種や世界の地域によって大きく異なっていることが判っています。ですから、世界の他の国から報告されたものは日本のぶどう膜炎の原因がどのようなものであるかということの参考にはなりません。そこで、今回日本の眼炎症学会が中心となってわが国におけるぶどう膜炎の原因疾患について調査することとなりました。日本全国の大学病院を含む20のぶどう膜炎診療を行っている施設がこの調査に参加する予定です。この調査に名古屋市立大学眼科学教室も参加し、日本のぶどう膜炎の原因疾患構成解明を行ないたいと考えています。

2. この研究の目的

日本全国のぶどう膜炎の原因疾患構成を明らかにすることで、わが国における疾患構成の長期的、あるいは短期的変化を容易に把握することが可能になります。それは疾患の予防や治療に役立つ可能性があり、また、眼科診療従事者全体でその情報を共有することで日常診療に大いに役に立つと考えられます。

なおこの研究は、本院では以下の研究者が対応します。

研究責任医師： アイセンター（眼科） 小椋 祐一郎

3. この研究の方法

この研究は、九州大学を中心として、研究機関として登録されている他施設と共同で行われる、観察研究です。過去の診療で得られた画像データ等を収集し、これを解析します。

4. この研究に参加しなくても不利益を受けることはありません。

この臨床研究への参加はあなたの自由意思によるものです。この臨床研究に参加する（解析にあなたの画像データを使用する）ことについて、いつでも取りやめることができます。途中で参加をとりやめる場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。

5. あなたのプライバシーに係わる内容は保護されます。

研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがあります。しかし画像は匿名化した番号で管理されるため、得られたデータが報告書

[ここに入力]

などであなたのデータであると特定されることはありませんので、あなたのプライバシーに係わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。

6. 得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」を遵守し、各施設の規定に従ってCOIを管理しています。

7. この研究は必要な手続きを経て実施しています。

この研究は、公立大学法人 名古屋市立大学大学院 医学研究科長および名古屋市立大学病院長が設置する医学研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は臨床試験に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、実施することが承認されています。またこの委員会では、この試験が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下、ホームページよりご確認くださいことができます。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”
<http://ncu-cr.jp/patient>

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたご自身のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター
連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL(052)858-7215

[ここに入力]